

北九州市主催

平成21年度「発達障害シンポジウム」開催のご案内

近年、「発達障害者支援法」の制定や「特別支援教育」の推進等により、発達障害児者に対する認識が確実に広まってきていますが、その一方で発達障害児者に対応できる療育機関・教育機関・医療機関・就労先等が限られているため、発達障害児者本人や家族のニーズに対して、十分な対応ができていないという現状があります。

そこで今回の「講演会」と「シンポジウム」では、発達障害児者への効果的な支援の必要性や支援のあり方とは何か等について、シンポジウムを通し現状や課題を共有し、発達障害の理解と今後の発達障害児者支援の体制整備に役立てることを目的とし、学校や就労の現場等で、実際に進められている「効果的な支援」に焦点を当て、フロアからの質問をお受けしながら、議論していきたいと考えています。

1： テーマ 「発達障害児者の効果的な支援のあり方を考える」

— 支援の現場から —

2： 基調講演 国立精神・神経センター精神保健研究所

児童・思春期精神保健部長 神尾 陽子 氏

3： 日 時 平成21年9月19日（土） 9：00～15：30

9：00	受付
9：30	主催者あいさつ
9：40～12：00	講演：神尾陽子氏（休憩15分）
12：00～13：00	昼食・休憩
13：00～15：30	シンポジウム（質疑応答・講師コメント・休憩等を含む）
15：30	終了・アンケート回収

4： シンポジストおよび座長

座長	西南女学院大学保健福祉学部福祉学科教授	山根 正夫氏
シンポジスト	北九州市立引野中学校教諭（通級指導教室）	田口 美子氏
（順不同）	九州国際大学学生支援室カウンセラー	恩地 裕子氏
	（有）化成フロンティアサービス	
	取締役 ソリューションサービス事業部長	田中 清氏
	（北九州市内の親の会3団体代表）	
	北九州LD親の会“すばる”会長	小林 康弘氏
コメンテーター	国立精神・神経センター精神保健研究所	神尾 陽子氏

5： 会 場 北九州学術研究都市 メインホール（会議場） 北九州市若松区ひびきの2番3号

6： 対 象 者 興味関心をお持ちの方ならどなたでも可

7： 定 員 400名

8： 参 加 費 無 料

9: 申込み方法

- * 往復はがき又はFAXにて、①氏名、②住所、③連絡先電話番号（FAXで申込まれた方はFAX番号も）④申し込み者の所属を書き、8月3日～8月25日までに、「北九州市発達障害者支援センター宛」に申込みください。
- * 複数連名での申し込みも可。代表者の①～④と、全員の①と④を明記ください。
- * なお、「市政だより」の8月1日号に掲載予定です。
- * お申し込みが定員を超えた場合は抽選となります。
- * お申し込みいただいた皆さまには、参加可・不可のお返事を、9月5日頃にお知らせします。（連名の場合は、代表者に連絡いたします）

〒802-0803 北九州市小倉南区春ヶ丘10-2
北九州市立総合療育センター内
北九州市発達障害者支援センター 「つばさ」
TEL/FAX 093-922-5523
メールアドレス: kitakyu.tsubasa@jcom.home.ne.jp

10: 主催 北九州市

(社会福祉法人) 北九州市福祉事業団
北九州市発達障害者支援センター「つばさ」

11: 後援 (予定)
北九州市教育委員会、西南女学院大学、北九州市手をつなぐ育成会、北九州LD親の会「すばる」、北九州市自閉症児者の未来を考える会、北九州市自閉症協会

12: 昼食 各自でご用意ください。

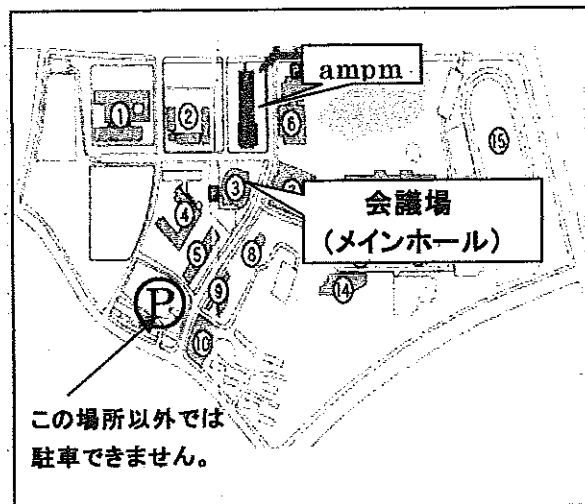
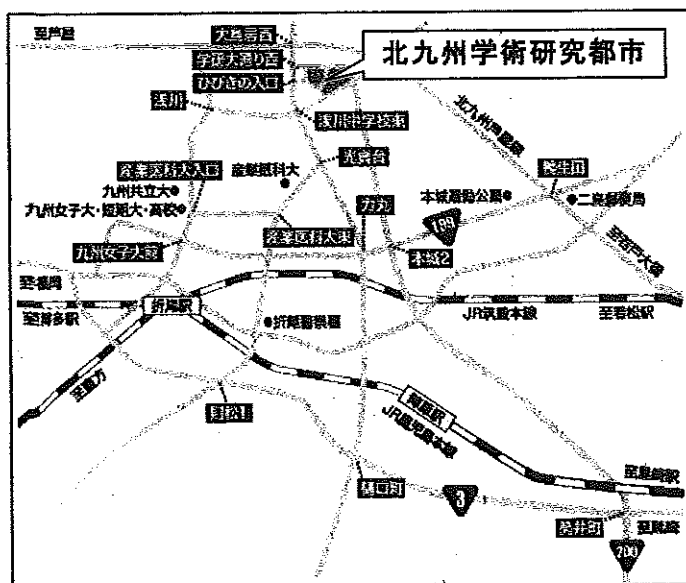
会場内ではお食事ができませんが、ホールにお食事ができる場所を設置する予定です。なお、近くにコンビニ（ampm）があります。

13: 会場までの交通機関

(北九州市営バス) : JR折尾駅西口 ⇄ 学術研究都市行 (33・63番)
(日曜日) <往路> (33番) 8:20・9:20 (63番) 8:40・9:00
<復路> (33番) 15:37 (63番) 15:18・16:18
「学研都市ひびきの」下車 (料金200円、約20分)

(タクシー) : 折尾駅より料金約1500円程度、時間10分程度。

(自家用車) : 駐車場あり (約200台収容) 会場まで徒歩3~4分(地図中のP)



③会議場(メインホール)

⑤情報技術高度化センター(産学連携センター3号館)

※ シンポジウム当日、「学術研究都市内」では他のイベントも開催されますので、イベント駐車場が共用となります。つきましては、上記「13: 交通機関」の公共交通機関のご利用にご協力いただきますようお願いいたします。